

心そだち場楽集隊

塾長：守田 連雲子

ありがとうございました。これからもよろしく！

広報4月号に「小さな一歩」として、18年度の心そだち場楽集隊の催しの一部を報告しました。温かい地域をめざして「愛」を育みどう伝えるか、塾生自身が日々研鑽を積み出来ることを身近なところで実践する、を柱にひとり一人が「愛をこめて」向き合っていました。

また、塾生を囲む温かい関係者から応援をいただき、多くの催しを元気に頑張ることができました。

講師の方々、リーダーになっていただいた方々も、思いを同じくして真剣にご指導いただき、参加者からもその時々うれしい言葉や感想をもらい、生活に活かしてくださっている様子がうかがえます。

3月17日、ゆめづくり塾合同事業「こども夢フェスタ Part 2」では、保護者の方々が西山塾生（元子育て学習センター相談員）に子育て相談やたしかめ、日常生活のことなど、思いを伝え心の通ったひと時をすごしました。又、この日を18年度の塾の思い出とする為に、牛乳パックの和紙を利用して「楽集の証」を、90組の親子に渡すことができました。この「証」は一枚一枚がてづくりで細かい作業ですが、ボランティアグループ「おひさま」の方々が受け持って下さり、温かさ、美しさ、品格を備えた「心そだち場」に相応しい出来上がりでした。おひさまグループの皆様ありがとうございました。こころより感謝申し上げます。

そしてわが子に温かいまなざしを向けながら、又、ぐずる子をあやしながら色々な「心そだち場」にご参加下さいました方々、ご不自由なことがあったと思いますが、ありがとうございました。これからも私たち塾生と一緒にいのちを守り、育み、心豊かに育児をしてまいりましょう。

愛はまず家庭から始まる.....マザーテレサより



子どもの育つ力を支える育児 ～ 母乳の心を始点として ～

ひょうご母乳育児の会（代表 中村肇氏＝県立こども病院長 事務局 パルモア病院内 絹巻敏子氏）より播磨町の子育て中の母親との交流を持ちたいとの依頼がありました。以前、播磨町子育て学習センターの両親教育インストラクターは、平成7年頃より日本母乳の会で母乳育児の応援者となるために、会員となり研修や会合に参加し、ひょうご母乳育児の会でも研鑽を積んでいました。その関係で、播磨町で医療者（保健師、助産師、看護師）と母親との交流が実現しました。依頼があったとき、塾としましては、子育て学習センターがなくなっているため、とまどいもありましたが、加古川おっぱいの会や町内の幼い子を育てている母親たちにお知らせし実現することができました。

塾では福井塾生をリーダーとして会場を温かくやさしい雰囲気にするため、幼い子を連れた母親たちが「心そだち場サロン」で準備した手づくりの花かごや造形でレイアウトし医療者をお迎えしました。

講演は川谷和子氏（神戸大学サテライト施設相談員 HCセンター子ども家庭支援部門研究員 日本母乳の会運営委員）による主に2～6才頃の「生きる力と人とつながる力」を育むのに大切なことをテーマとしたものでした。

「子どもを孤立させない」「ありのまま」「なすがまま」を混同しないなど親が陥りやすい子育てに警鐘を鳴らすものでした。

1. 私たちは子どもの「何」を育てたいのか
2. 自立の基礎となるもの
3. しつけとは何かを考えてみましょう
4. 人とつながる力を育む



“小休憩では飲み物と赤ちゃんせんべいをご用意いただきお母さんも保育サポーターもホッと一息”

医療者との交流会では、出産や母子同室、母乳育児の難しさなど母親たちから多くの質問が出され、また乳児を抱えた母親たちには、医療者が子を抱っこして「元気に育ってますね」と苦勞を労う言葉をかけられ、親たちも安心して質問をすることができました。次の子の出産に備えての知識などを得て、予定時間終了後も別室で交流が続き、密度の濃い交流会となりました。

ひょうご母乳育児の会の方々からも播磨町での母乳育児支援の取組みに対して、たくさんの感謝の言葉をいただきました。地域社会が育てる母親の立場に寄り添い支援できればもっと子育てが楽しくなり、無垢な子どもたちの声がたくさん聞かれるのではないかと感じる1日でした。

一年間を振り返って！

風は未だ冷たいけれど、陽の光には春近し、を感じさせる3月17日巣立ちの会が、子育て支援イベント「こども夢フェスタ Part 2」で楽しく遊んだ後に野外で行われました。嬉しそうに終了証とお土産を受け取っている親子を眺めながら、1年間のあれこれを思い出しました。学習センターがなくなって以来一時はどうなる事かと不安一杯でしたが、元インストラクター、指導員、卒業生、ボランティア、有志等多数の方の努力と協力のおかげで「心そだち場楽集隊」が生まれ、いろいろな学習、活動ができました。

微力ながら寄り添う会としてお手伝いできました中から、私は色々な教訓を受けました。それは若い方の発想の面白さ、実行力のすばらしさ、そして集まって来られるママさんの立派なお母さん振りです。(子どもさんの笑顔と順調な成長ぶりが嬉しいなあ……。)

助け合いつつ過ごした一年間皆さん本当にご苦労様でした。



「心そだち場楽集隊」ふれあい体操を通して！

夢づくり塾「心そだち場楽集隊」の塾生とし参加し、若い母親、子どもたちに接して、今も親たちは「学びの場」を求めて参加してきていることを感じました。

また、体操を親子に指導していく中でも、母親たちは、子どもたちとのスキンシップを大切にしていること、体を動かしながら子どもとのふれあいを楽しんでいることを感じました。

私自身、「ふれあい」をテーマに体操を指導し、そして、常にひとりの先輩ママとして子育てはみんなですると楽しいこと、仲間がいると心強いことを、体操以外にもメッセージとして伝え続けました。

子どもは、中央公民館の大ホールを走り回るだけでもストレスが発散されます。広い場所で、走ったり体を動かすことで元気です。子どもたちの好きなボール、縄、フープを使い大ホールいっぱい走り、跳び、動き、楽器を使い季節の童謡を歌い、手遊びやリズム体操、人形劇やペープサート、タオルを使ったわらべ唄を楽しみました。

いつも体操だけで終わらないように、体操を通して、親と子がふれあい、楽しめるように工夫しました。

母親たちが、積極的に動き、子どもたちが楽しんで動いてくれたおかげで、毎回盛り上がり親も子も充実した時間を過ごせたと思います。

これから、支援の中にも、母親たちの充実感、達成感、学びの姿勢と子どもたちのふれあう嬉しさ、寄り添う安心感、動く楽しさ、母親と過ごす一体感をこの「心そだち隊」のプログラムを通して、一緒に味わい、共に育っていきたいと思います。

塾生：安福 かよ子

愛と熱意に包まれて！

私は途中参加のようなもので、活動が今一つ分りにくかったのですが、一年を通してみてこの塾の目指す事がやっと見えてきました。初めて子育てをする親達と支援する塾生が親としての生き方、背中の見せ方を学び合うという目的が、最後までブレていないのです。

色々な魅力溢れる活動を計画し実施されました。その中で心に残っているのは、蓮池小学校体育館をお借りしての子育てファミリー運動会でした。0歳から幼児、小学生、両親、祖父母と幅広い年齢層の方たちが、体育館いっぱい集まったのは感動でした。参加されたどの人の心にも大きな成果があった事でしょう。その他にも、心そだち場サロン、フェスティバル、フォーラム、心そだち通信の発行等の活動がありました。参加対象年齢も幅広く、内容もバラエティに富み塾生もそれぞれの個々人が持てる力を出し合い、協力して手際よく進められました。最後の活動の時にアイデアいっぱい心こもった手すき和紙の終了証を全員に手渡すこともできました。

振り返ってみれば、どの場の根底にも暖かい愛と熱意がありました。この一年の体験が各人の明日への応援歌となる事でしょう。この塾でいろいろな方達にお会いできたことが嬉しく、私にも大きな成果となりました。来年度も町の補助を受けながらさらに大きな力強い輪としたいものです。



親子でつくる楽しい時間

未就園児の親子が集まって「親子でつくる楽しい時間」をテーマに、発砲スチロールのトレイを用いて魚をつくったり、絵の具を手につけて紙に押し当てたりする遊びを行い進めてきましたが、お母さんたちは、子どもの落書きの後始末や片付けなどを避けるために、画材や素材が身近なものではなく、なるべくなら触らせたくないと感じているように思います。子どもが行う(かく)(つくる)行為は、育ちのなかで自然に行われる発達の一場面であり、自分の世界を成長させていく大切な時間です。

(かく)(つくる)を親子で体験して、一緒にするともっと楽しいと感じていただきたいと思います。

塾生：笠原 泉

小児科医 土屋邦子先生を囲んで！

土屋先生の小児科医時代のお話の後、赤ちゃんや小さなお子さんと一緒に若いお父さんお母さん方の育児や心配事などの質問と先生のお答えを、後ろの席で傍観していた私に「思春期の中学生を持つ、お母さんから何か先生に質問はありますか？」とマイクが渡され言葉に詰まりながら、娘が10才の時に書いた、二人目を出産した私の妹あての手紙の話をさせていただきました。娘は「自分が4歳の時に弟ができ、周りの大人がみんな一斉に弟の方に向けてしまいとても寂しい思いをしたから、赤ちゃんのことばかり見ないで、お兄ちゃんになったけんちゃんも見てあげて。お兄ちゃんでしょ！っておこらないでね。」と書いたのです。それを知って私は、娘に寂しい思いをさせていたことを、とても後悔し思春期となった今、しかるときに躊躇することがあると話しました。

すると土屋先生は、10歳で周りのことを良く見ていて、自分の気持ちを表現でき、お母さんを傷つけない相手を選んで手紙を書いていると、思いもかけず娘をほめて下さいました。そして私の気持ちを十分に優しく聞き入れてくださり、どうしたらいいのかを諭して下さいました。

過去の事をどうしようもないと無理やり心に仕舞い込もうとしていた私は、初めて答えをもらえてホッとしたように思います。帰宅した娘に「ほめてもらったよ」と話すと「へへん」と得意げに笑っていました。



町内めぐりに参加して！

今回、3歳の長女と生後4ヶ月の次女を抱えて参加しました。授乳のタイミングどうしょうか、ぐずらないかと心配でしたが、サポートの方々やメンバーの方々のお陰で楽しい時を過ごすことができました。長女は、よほど嬉しかったのか、翌日もお弁当を持ってミニ遠足に出かけました。私も、娘たちを連れて出るのは慌ただしかったですが、3人そろっての遠足は格別で、充実感に満ちた一日でした。

その他活動の様子



平成 18 年度 「心」育ち場楽集隊塾 事業結果報告書

月	日	時 間	事業実施内容	実施場所	対象参加者数	スタッ フ
7	14	19:00~20:30	塾の運営について	塾長宅		4
	20	9:30~12:00	全体会、塾の運営	中央公民館	子ども 4	13
				特別研修室		
28	13:30~15:30	いのちの教室企画会議	中央公民館	特別研修室	7	
			特別研修室			
8	1	9:30~12:00	いのちの教室チラシ配布	中央公民館		5
				ロビー		
	12	10:00~12:00	今期初めてのオープンイベント 1回目	中央公民館	39組/90人	11
				大ホール		
	21	13:00~16:30	いのち語り隊 愛とは 性とは 生きるとは	中央公民館	30	11
				視聴覚室		
21	9:30~12:00	そだち場サロン、 土屋先生を囲んで	中央公民館		20	
			特別研修室			
26	10:00~12:00	オープンイベント 2回目	中央公民館	37組/80人	9	
			特別研修室			
9	2	13:00~15:30	運営委員会	中央公民館		6
				ロビー		
	4	9:30~12:00	親子ふれあい遊び 1~2歳児	中央公民館	52組/104人	8
				大ホール		
	9	9:30~12:00	子育てトーク 2~3歳児	中央公民館	36	6
				大ホール		
	9	13:30~15:00	子育てトーク 1~2歳児	中央公民館	15	6
				2研		
	12	13:00~15:30	牛乳パックで子ども用の イスづくり	中央公民館	14	7
				視聴覚室		
16	9:30~12:00	子育てトーク 2~3歳児	中央公民館	38	8	
			大ホール			
16	13:00~15:00	子育てトーク 1~2歳児	中央公民館	18	8	
			大ホール			
22	9:30~12:00	塾生サロン祖父母集	中央公民館		9	
			5研			

平成 18 年度 「心」育ち場楽集隊塾 事業結果報告書

10	4	10 : 00 ~ 12 : 00	発砲トレーで魚づくり	中央公民館	39	4
			2 ~ 3 歳児	大ホール		
	21	13 : 00 ~ 15 : 30	土屋先生を囲んで	中央公民館	32 組/68 人	7
			土屋先生を囲んで	大ホール	11 組/24 人	7
3	10 : 00 ~ 11 : 30	心もからだもスキンシップ	中央公民館	60	8	
			大ホール			
24	13 : 00 ~ 15 : 30	コアラだっこグループ	中央公民館	4 組/8 人	3	
		初めましての集い	和室			
11	1	9 : 30 ~ 12 : 00	子育てトーク	中央公民館	3 組/6 人	3
			コアラだっこ	和室		
	4	13 : 30 ~ 16 : 00	大中遺跡まつり参加	大中遺跡	15 組/36 人	3
	7	19 : 00 ~ 22 : 30	実行委員会	塾長宅		5
	9	9 : 30 ~ 12 : 00	運動会の準備	中央公民館	13 組/26 人	4
			さかな を作ろう	視聴覚室		
	11	9 : 30 ~ 12 : 00	子育てトーク	福祉会館	10 組/28 人	4
			運動会にむけて	3 階		
		13 : 00 ~ 15 : 00	子育てトーク	福祉会館	10 組/20 人	4
運動会にむけて			3 階			
15	13 : 00 ~ 15 : 30	子育てトーク	中央公民館	3 組/6 人	2	
		コアラだっこ	和室			
17	12 : 00 ~ 17 : 00	講演会	嬉野台生涯		7	
		親学習支援の必要性	学習センター			
23	8 : 30 ~ 14 : 00	子育てファミリーうんどうかい	蓮池小学校	58 組/164 人	16 組/23 人	
			体育館			
28	13 : 00 ~ 16 : 30	東播磨地域フォーラム講演会	明石市民会館		2	
			「開かれた」学校に関わる地域の役割			
12	9	9 : 30 ~ 12 : 00	クリスマスの飾りをつくろう	福祉会館	8 組/18 人	2
			帽子他			
	12	9 : 30 ~ 12 : 00	クリスマスの飾りをつくろう	中央公民館	12 組/28 人	3
			帽子他	和室		
13	13 : 00 ~ 15 : 30	子育てトーク	中央公民館	3 組/6 人	2	
		コアラだっこ	和室			
16	16 : 00 ~ 18 : 30	フェスティバル準備会他	めん坊・中公		7	

平成 18 年度 「心」育ち場楽集隊塾 事業結果報告書

12	23	13:00~15:00	クリスマス会準備	中央公民館		16
	24	9:00~12:00	クリスマス会	中央公民館	145	15
			サンタさんも一緒	大ホール		
1	8	9:30~12:00	子育てフォーラム小児科医	中央公民館	7組/17人	5
		13:00~15:30	講演 土屋邦子先生	大ホール	12組/23人	9
	22	9:30~12:00	心もからだもスキンシップ	中央公民館	23組/49人	3
				大ホール		
	24	13:00~15:30	子育てトーク	中央公民館	4組/8人	2
			コアラだっこ	和室		
	27	10:00~12:00	子育てトーク	福祉会館	15組/31人	5
		13:00~15:00	おにのぼうし	第3会議室		
30	9:30~12:00	作ってみよう!	中央公民館	14組/20人	5	
		遊んでみよう!	特別研修室			
2	6	9:30~12:00	作ってみよう!	中央公民館	8組/16人	5
			遊んでみよう!	特別研修室		
	7	9:30~12:00	子育てトーク	中央公民館	3組/6人	2
			コアラだっこ	和室		
	17	10:00~12:00	子育てフォーラム	中央公民館	26組/51人	14
			母乳育児について	大ホール・1研・特研		
21	13:00~15:30	子育てトーク	中央公民館	4組/8人	2	
		コアラだっこ	和室			
23	10:00~11:30	心もからだもスキンシップ	中央公民館	13組/30人	6	
			大ホール			
3	2	13:00~15:30	公民館まつり	中央公民館	34組/71人	5
			バザー準備	視聴覚室		
	3	9:30~12:00	公民館まつり	中央公民館	52組/81人	6
			バザー	視聴覚室		
	17	8:30~12:00	こども夢フェスタ Part 2	であい公園	80組/170人	8
			終了式			
	20	9:00~12:00	町内めぐり	播磨町内	11組/30人	3
13:00~15:30		町内めぐり	播磨町内	7組/16人	8	
24	10:00~15:00	食育の集い	野添コミセン	子ども8	10	
		3世代で豆腐作りを体験	調理室			

<p>塾活動 報告書 延10回</p>	<p>【塾 名】 「心」そだち場楽集隊 コアラだっこ グループ</p>			
<p>このことについて、次のとおり開催しましたので報告します。</p>			<p>参加人数</p>	<p>塾 長</p>
<p>報告提出日 平成 19年 3月 31日</p>	<p>【「塾」開催日時】 別紙参照</p>	<p>【開催場所】 中央公民館</p>	<p>延</p>	<p>守田 連雲子</p>
<p>テーマ及び内容</p>	<p><テーマ> 子育て支援の在り方</p> <p><担当> 守田、村上</p> <p><対象者> H18年4月～19年3月生の第1子と親(初めての子育て)</p> <p><募集方法> 行政の実施する乳児検診の時に配布するつうしん「抱かれる子どもはよい子に育つ」(毎月発行)と一緒に初めての親にチラシを入れて知らせる。(検診日に30部位配布)がその中で10部ほどが、子育て初めての親に届くように声かけをする。検診日なので忙しいため反応はないが、後で資料を読んでもらうだけでもよいと思っている。</p> <p><集いの目的> 出産後、慣れない子育てと日常生活の変化、心と体のしんどさを持ち、又自己のペースで進まない時間、24時間休みなしの日々に母親への癒しとホッとする時間が必要、初めての子育てへの多くの不安とたしかめなどその時々出会った寄り添いが必要、産後の母と初めての子育てへの知恵を提供し、ほんの少しでもいい時間をすごしてもらいたい。</p>			
<p>所見</p>	<p>コアラだっこグループは、18年の10月から始まりました。</p> <p>子育てするのが初めての初々しい方たちばかりで、一生けんめいに子育てに取り組んでいる姿がひしひしと伝わってきます。おそらく子どもが生まれるまでは、おむつを替えた経験もないと思います。</p> <p>それでも日々母乳やミルクあげたりおむつを替えたり、お風呂に入れたりととっても忙しいのです。</p> <p>子どもたちの成長をたのしみに毎日が新鮮で、今日は笑ってくれるようになった、言葉ができるようになった、寝返りができた、つかまり立ちができた、一歩足が出たと我が子のちょっとしたことで一喜一憂しているお父さんお母さんのお手伝いができたらいいなあという思いで、コアラだっこグループは頑張っています。そして同じくらいの年齢の仲間づくりもできたらと思っています。</p> <p style="text-align: right;">(村上)</p>			

コアラだっこグループノートについて

毎回、出席者の一人にノートに思いを記録してもらっている。守田が読んでもらいコメントをいれているが、初めての親となった方々の新鮮な気持ちが、語られグループの方々が共有できることがいいと思う。

塾生の方々にも機会があれば、親として初々しい感想を読んでほしいです。

こあらだっこ活動内容

回数	開催日時	開催場所	参加人数	塾講師
1回	平成18年10月24日(火) 13:30~15:00	中央公民館 和室	4組/8人	守田
	<p>【内容】 「初めましての集い」 母親の立場にたって書かれた心理学、医学書、臨床心理士の方々の本の読み聞かせや命の尊さなどを内容にして、本の内容でトークしながら手づくりおもちゃ、かわり方、夫から得られる協力、困ったら「助けて!」と言える親になってもらう為の受け側サイドの情報の提供など、その時の親側の問いかけで話の内容が広がる。</p> <p>【子育てノートより母親のコメント】 母乳育児の大切さを再認識、ティータイムがおいしかった。家ではティータイムができない。</p>			
2回	平成18年11月1日(水) 9:30~12:00	中央公民館 和室	3組/6人	守田
	<p>【内容】 ラブユウフォーエバー読み聞かせ</p> <p>【子育てノートより母親のコメント】 五百蔵さん子どもがぐずってゆっくり話を聞けなかった。読み聞かせが感動した。初めての出産育児で「こんなはずじゃなかった」と思う毎日でしたが、親子の一生のつながりを感じることが出来子どもを生んでより豊かに自分の人生を送ることができると思った。</p>			
3回	平成18年11月 5日(水) 9:30~12:00	中央公民館和室	3組/6人	守田
	<p>【内容】 子育てトーク</p> <p>【子育てノートより母親のコメント】 集まりが少なくてさみしいが、守田、村上、ママ達の経験が聞けるので、本でのマニュアル人間の私にとってはより肩の力を抜いて育児に取り組めるようになった。私の経験談も皆さんの力になればいいと思う。プライベートでも集まりたい、遊びたいとメールで呼びかけた。</p>			
4回	平成18年12月 3日(水) 13:30~15:00	中央公民館 和室	3組/6人	守田
	<p>【内容】 クリスマスってなーに ディズニーのビデオ視聴</p> <p>【子育てノートより母親のコメント】 子どもをみていると全てが愛らしい可愛いなーと思う。子どもが加わっての初めての経験、毎日一層いろいろなことに感謝している。子どもができた事により今までと同じことでも見方が変わり全てが新しい経験になる。</p>			

こあらだっこ活動内容

回数	開催日時	開催場所	参加人数	塾講師
5回	平成19年1月8日(月) 9:30~15:00	中央公民館大ホール	3組/7人	守田
	【内容】 小児科医 土屋邦子先生講演 【子育てノートより母親のコメント】 兄弟の子育てに悩んだ質問に対して、子育て初めての母親は、今は一人でいいが二人目が生まれたら淋しい思いをさせないようにゆとりを持って育てたい。子どもは3人ほしいが(経済的に無理かな.....)、次の出産は3年空けたいとのこと。			
6回	平成19年1月24日(水) 13:30~15:00	中央公民館 和室	4組/8人	守田
	【内容】 「いのちのうた」読み聞かせ 涙をそっとふきながらきいていた親もいた。 【子育てノートより母親のコメント】 前回より妊娠中の体重の話がよくでています。「食べつわり」という言葉があるようです。アトピーは妊娠中の母親の食に問題があるように医師に注意を受けた方もいました。			
7回	平成19年2月7日(水) 9:30~12:00	中央公民館 和室	3組/6人	守田
	【内容】 1. 折り紙3枚でこまを作る 2. ビデオ「0歳~1歳半のふれあい遊び」 守田の声が出なくなり、親が心配する(よく赤ちゃんを抱くので)といけないので、村上さんをお願いしてロビーで事務処理をする。			
8回	平成19年2月17日(水) 9:30~12:00	中央公民館大ホール	2組/4人	母乳の会
	【内容】 兵庫母乳の会 の講演と指導者との交流 塾生や保育サポーターの応援を得て「子どもの育つ力をささえる育児」母乳の心を始点として、その後のパルモア病院の井田助産婦を中心に大勢の指導者との交流ができ得たと思う。子育てノートにもミルクの方がいいと思ったが、次の子は母乳にしたいと記してあった。			
9回	平成19年2月21日(水) 13:30~15:00	中央公民館 和室	4組/8人	守田
	【内容】 ベビーがまだ小さいので、公民館まつりの子育てバザーや3月17日の塾合同である「子どもフェスタPart 2」の参加は見合せことにする。新塾がスタートしなくても19年度は4月11日に「はじめましての集い」をすることにして、この集まりを継続することになる。ある母親は、子育て支援センターは予想に反して子どもが来ていなかった。がっかりしていたら「コアラだっこの会を紹介された」と参加の動機を語ってくれた。			

こあらだっこ活動内容

10回	平成19年3月20日(火) 13:00~15:00	播磨町内	3組/6人	守田
	<p>【内容】 次回の集まりの計画していた時(2/21)に町のバスを1度だけ利用してもいいと言う情報を得て「町内めぐり」を計画する。午前中はこの春幼稚園に行く親子を中心に、午後はこのグループの参加とする。(内容は報告書記載)</p> <p>【子育てノートより母親のコメント】 今日は播磨町内をバスで回りました。同じバスに大きなお兄ちゃん、お姉ちゃんもいて救急車やパトカーを見て喜ぶ子どもたちが、とても可愛かった。長男が大きくなったら今日案内していただいた所に連れて行きたい。ちなみに旦那に明石大橋を見せてあげたらびっくりしていました。</p>			

塾活動 報告書	【塾 名】 「心」そだち場楽集隊 食育をテーマに豆腐づくりと塾生の皆様への感謝の集い		
このことについて、次のとおり開催しましたので報告します。		参加人数	塾 長
報告提出日 平成 19 年 3 月 31 日	【「塾」開催日時】 平成 19 年 3 月 24 日(土)	【開催場所】 西部コミセン	大人 11 人 子ども 7 人 守田 (松井)
テーマ 及び 内容	<p>松井ご夫妻による「豆尽くし」手料理研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手づくりとうふ…みんなで作ったとうふ(豆乳を煮詰めてにがりを入れこして型に入れる) ・ 黒豆ご飯、ゆばの汁もの(ゆば、みつば、ゆずの皮) ・ ザルとうふ、乾燥ゆばのからあげ、黒豆とうふみつけ ・ 湯葉の包みだき、つけもの、はっさく <p>子どもたちに小学 3 年生の国語の本にある「おとうふについて」の読本をしてもらう。</p> <p>松井講師は、18 人分の料理の食材を奥様と一緒に準備していただき、奥様は時間がかかるものは 自宅で料理をして運んでくださる。</p> <p>3 歳の子(安福さんお守りをしながら)も配膳台にきて見学。85 歳までと年齢幅が広く、皆んなで作り、おいしくいただき、和食を堪能する。</p> <p>「楽集の証」を渡す</p>		
塾長の 所見	<p>当塾の内容上、塾生だけの集まりは無理であったが、最後に勉強会ができ、またご苦労さん会を兼ねることができ本当に良かったと思う。</p> <p>バザーの売り上げに個人の寄付もあり、その中で催すことができた。</p> <p>終了後、松井食品へ作るだけで帰られた奥様、ありがとうございました。</p> <p>欠席者の方、本当に残念でした。そして 1 年間いろいろな役割でご参加下さりありがとうございました。</p>		
記録員 の所見	<p>松井講師は、人数が多いとなかなか研修ができないので、塾として一般の方に伝える時は、小学校 3 年生親子で募集して 4 ~ 5 組がいいと言われる。</p>		

心そだち場楽集隊からの情報提供

そだち場つうしん一覧

「抱かれる子どもはよい子に育つ」 医学博士石田勝正著

- No.1 なぜ 人間は育児をするのか？
- No.2 なぜ 赤ちゃんを、母親が抱いて育てることがたいせつか？
- No.3 なぜ 母乳育児が見直されているのか？
- No.4 新生児室は赤ちゃんにとって地獄のような世界
- No.5 なぜ 夫婦のよさが育児に大切か？
- No.6 なぜ 家庭の「和」が育児に大切か？
- No.7 なぜ いつまでもあまえる子どもになるのか？
- No.8 なぜ 親が早くから叱り過ぎてはいけないのか？
- No.9 なぜ 親が口出しをし過ぎてはいけないのか？

2. 「心」そだち場楽集隊日程表(親子向け) 1号～5号

3. 赤ちゃんを股関節脱臼にしないように

4. 土屋先生の講演から 「赤い聴診器」

5. 永原先生の講演から いのちの教室

あなたのことが大切 「愛とは 性とは 生きるとは」

6. ひょうご母乳育児の会

子どもの育つちからを支える育児 ～母乳の心を始点に～

7. 塾生対象

トーマス・ゴードン著「親業」より(県教資料より)

- ・祖父母の知恵を子育てに
- ・祖父母集とは、三世代ふれあい家庭教育
- ・しおり(愛の賛歌)